

2006/3月以来米FRBは通過供給量情報公開を停止、最近の原油と穀物高背景には需要増大以上に本物の偽\$札増大横行がある。世界最大負債米国の最後のあがきか？！。

①信用通貨(お札)の正体！？＝中央銀行機能：

(1)日本銀行のホームページでの自行機能の紹介<この一文では本質は判らない>：

「日本銀行法では、日本銀行の目的を、「我が国の中央銀行として、銀行券を発行するとともに、通貨及び金融の調節を行うこと」および「銀行その他の金融機関の間で行われる資金決済の円滑の確保を図り、もって信用秩序の維持に資すること」と規定しています。また、日本銀行が通貨及び金融の調節を行うに当たっての理念として、「物価の安定を図ることを通じて国民経済の健全な発展に資すること」を掲げています」。ここで銀行券の一生と言う項目を参照。

(2)信用通貨(お札)は印刷された時は本物の偽札、日銀に還流してゴミ化して初めて成仏。

金貨銀貨の如くそれ自体が価値を持つ通貨はそれで結構だが、紙切れ印刷紙幣は自体に価値がない。だから日銀券発行は日銀自身の(擬似負債)に相当。市中銀行等から還流して初めて負債消滅。だから塵に出来る。市中貸出では当然相手から債権を取る(資産)。

	借り方(支出と余剰)＝資産科目	↓ここが重大	貸し方＝資本及び負債科目
資産	通貨供給に伴う市中貸出債権。	債権者不在負債	日銀の銀行券印刷引取り。

(3)通貨取還出来ない日銀は偽札作り犯！。

市中通貨発行要求で印刷貸出しは債権を取るから資産負債相殺で日銀は確かに無罪だが、もし市中債権償還がない日銀は(本物紙幣)偽札作り犯になる！。市中はインフレになる。

(4)無から有を生む紙切れの国債発行の日銀引取りの問題点とインフレ問題：

印刷事態には印刷代以外に札以上の付加価値が無いのに札＝資産が出来るは偽札作り。国債発行の日銀引取りは付加価値無能力国家が負債者と同時に**債権者不在のW負債者**。いわゆる事実上の政策インフレに相当とも考えられる。確かに印刷には制限がないから幾らでも期日までに印刷すれば償還可能だが。インフレは負債者には救済にもなる。**但し国民給与もインフレ並行で上昇せねば物価高で生活苦境になる。**

②米国連邦銀行FRBの通貨供給量情報公開停止問題と世界的資源物資インフレ危機：

インフレが海外から浸出すると輸入品関連の国内経済は危機になる。インフレ本質は偽札による買い物だから泥棒に相当、泥棒の横取り多ければ、堅気への供給は不足し、当然物価高に移行する。2006/3月以来米FRBは通過供給量情報公開を停止してる。それ以前には過去5年で通貨供給量は倍増してると言う。実際米国人の貯蓄率は最低記録を更新と言う。下記に生活基盤資源に関わる驚くべきインフレ傾向が見える。

最近の原油は僅かに2年で倍増 43\$/B(05/3)→85\$/B(07/10)、国際小麦価格は1998→2006の間は100~150\$の間で比較的安定価格にあったが2006→2007はほぼ倍増以上の350\$/ton高値にある<出典:FAO(Trades and Markets)>

(1)原油の上昇を国際需要の増大と見るには余りに2年と言う期間は短すぎる。

(2)小麦が過去10年近く安定的基調にあるのに僅かに1年での急増は異常すぎる。

<オーストラリア旱魃はここ数年あった事実も無視できないが>。筆者には専門外だから詰は出来ないが直感として誰も感じるだろう。これは2006/3月のFRB通貨供給情報停止時期とほぼ前後するでないか。世界最大負債国＝米国は9/11自作テロのみならず\$札印刷爆弾も国際市場に仕掛けてる嫌疑濃厚と言えるだろう。